



新機能ガイド

DTX Studio™ Lab 1.10.6.1
New information

Content

•Information 04

- ソフトウェアの変更 04
- ソフトウェアのログイン 05

•LS3スキャナーアップデート 06

- スキャナー日本語対応 07
- スキャン状況通知 08
- スキャン効率化 10
- 画像トリミング 11
- 穴埋めスキャン 13
- 咬合床スキャン 15
- スキャン+インポート 16
- デザインフロー変更 22
- スキャン設定の効率化 23

• DTX Studio™ Labソフトウェアアップデート 24

- テンプレート・リクエスト 25
- 歯牙ライブラリーの拡張 26
- パラメータ・ファイルの追加 27
- ASCビジュアライゼーション 28
- アクセスホール強化 29
- バーチャル・ジンジバ 30
- Spit file 31
- Anti-rotation grooves 33
- 患者データのアーカイブ 34
- Restoration Request 35

• Contact support 38



User manual

•関連するUser manualを掲載しています。



How to video

•関連するHow to videoを掲載しています。

How to videos Content

〔Template Request〕

#001_Accept Template Request and Edit

〔TempShell Request〕

#002_Accept TempShell Request_Design and Produce1

〔Case Set-up〕

#003_DTX Studio Lab_Case Set-up_Layout and Workflow
 #004_DTX Studio Lab_Case Set-up_Remember Last Selection
 #005_DTX Studio Lab_Case Set-up_Spit File
 #006_DTX Studio Lab_Case Set-up_ABT
 #007_DTX Studio Lab_Case Set-up_Implant Direct
 #008_DTX Studio Lab_Case Set-up_IOS Case
 #009_Case Set-up_Single Unit Request
 #010_Case set-up_Multiple Unit
 #011_Case set-up_Spit File

〔Design〕

#012_DTX Studio Lab_Design_Universal Base Height Selection
 #013_DTX Studio Lab_Design_Extended Tooth Library
 #014_DTX Studio Lab_Design_TempShell Connectors1
 #015_DTX Studio Lab_Design_Soft tissue with Thimble WF
 #016_DTX Studio Lab_Design_Soft tissue with Veneering SF
 #017_DTX Studio Lab_Design_Abutment and Crown WF
 #018_Articulation
 #019_Die Alignment During Design
 #020_Crown
 #021_Crown_Multiple Units with Cutback
 #022_Inlay Onlay and Veneer
 #023_Full Contour Crown
 #024_Abutment
 #025_Screw Retained Crown
 #026_Spit File_Abutment and Restoration

〔Design〕

#027_Universal Base_Full Contour Crown
 #028_Universal Base_Full Contour Crown with Cutback
 #029_Bridge
 #030_Full Contour Bridge
 #031_Implant Bridge_Soft Tissue with Thimble Design
 #032_Implant Bridge_Soft Tissue with Veneering Design
 #033_Implant Bridge with ASC and Facial Cutback
 #034_Implant Bridge_Designed from Diagnostic with Cutback
 #035_Bridge Connector Designs
 #036_Edit Meshes and Free Form Scan Data
 #037_Model Tooth
 #038_Attachment Workflow to Create a Retention Groove on an Abutment

〔Implant Bar〕

#039_Free Shape Milled Bar design
 #040_Hybrid Bar
 #041_Activate Alignment Tool
 #042_Adding Attachments to a Free Shape Milled Bar
 #043_Altering Distal Extensions
 #044_Anterior Region Definition Tool and Add Finger Retention
 #045_Anterior Region Definition Tool and Intaglio Offset
 #046_Cylinder Beveling Tool
 #047_Changing Personal Preferences
 #048_Cylinder Acrylic Finish Line
 #049_Cylinder to Bar Link Adjustment
 #050_Anteroposterior Distance
 #051_Hybrid Bar Retention Elements
 #052_Select Bar Type
 #053_Visibility Tool

〔ModelCreator〕

#054_Model Creator_Sectioned Model Design
 #055_Model Creator_Push Pin Design

〔Scanning and Import〕

#056_Edit Scan Preferences
 #057_DTX Studio Lab_Scanning Trimming Tool
 #058_DTX Studio Lab_Scanner Display-Computer Synchronization1
 #059_DTX Studio Lab_Meshing and Scanning at Same Time
 #060_DTX Studio Lab_Scanning Occlusal Rim1
 #061_Scan_Implant Model
 #062_Import and Define Scans
 #063_Manual Alignment of Imported Scan Data
 #064_Auto Alignment of Imported Scan Data



掲載されているHow to videoの中には、Version,1.10.6.1以前のバージョンのファイルも含まれております。予めご了承頂き、ご参考としてください。

Information

Change software name and icon

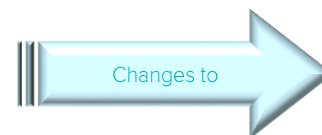
DTX Studio™ designソフトウェアの名称とアイコンが変更になります

旧名称 : **DTX Studio™ design** (バージョン 1.8まで)

新名称 : **DTX Studio™ Lab** (バージョン 1.10から)



DTX Studio™ design



DTX Studio™ Lab

Information

Software User login

- ユーザー名を及びパスワードを使用し、**DTX Studio™ Lab**にログインします。
- **DTX Studio™ Implant**と同じ構成となります。



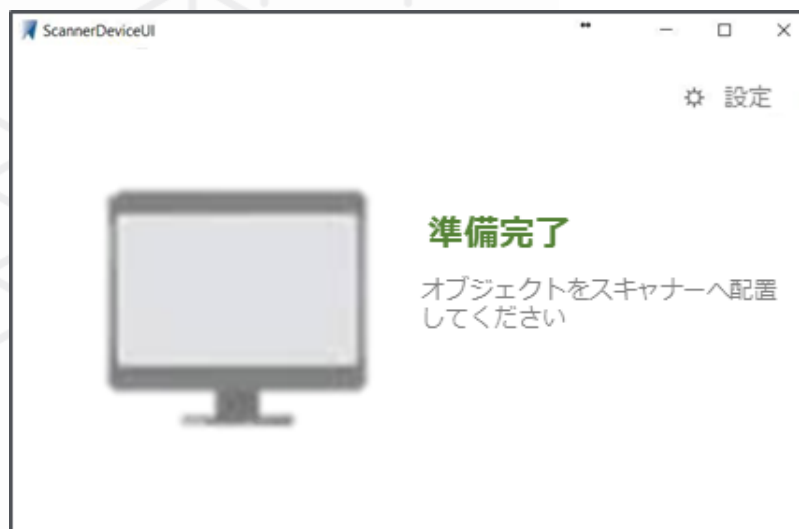
Update LS3 Scanner function

Information



Scanner interface

- Scannerインターフェイスが日本語対応し、ソフトウェアがさらに使いやすくなりました。



日本語対応：

ソフトウェアに続き、スキャナーのインターフェイスが日本語に対応

Activation of LED & Speaker

スキャン状況通知：

スピーカー & LEDライト機能が起動し、スキャン結果を光と音で通知します。
光の種類により、状況を把握が可能となりました。



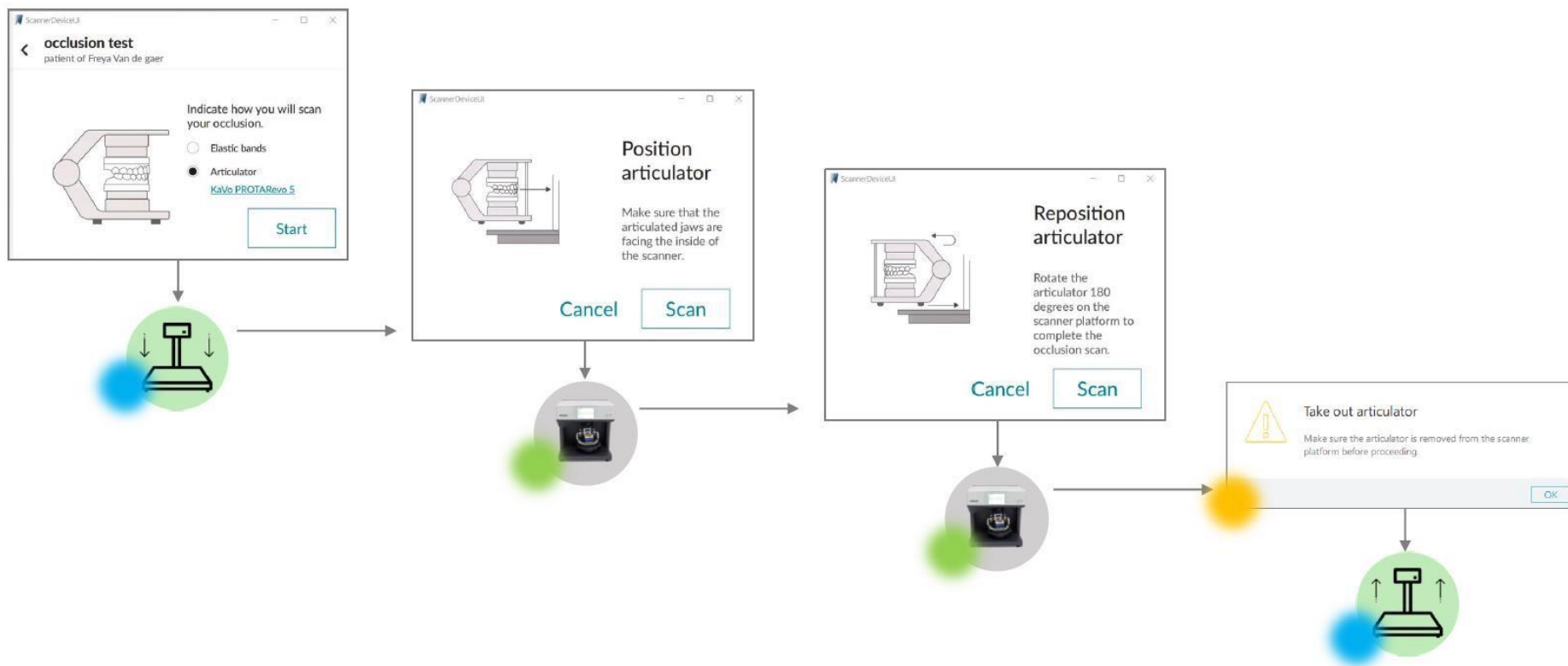
How to video

【Scanning and Import】
#061_Scan_Implant Model



Activation of LED & Speaker

LED：オクルージョンスキャン時の例





How to video

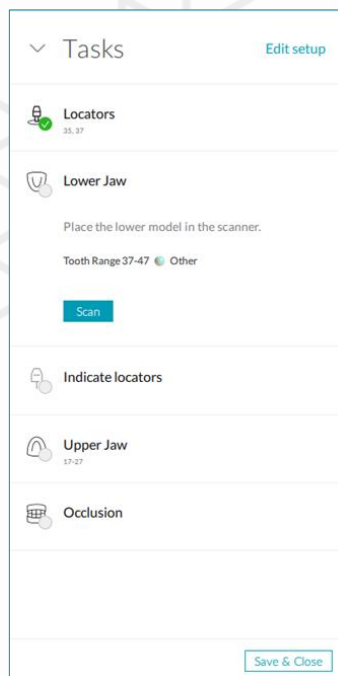
【Scanning and Import】
#059_DTX Studio Lab_Meshing and Scanning at Same Time

Scan algorithm improvements

スキャン時間の効率化：
3Dメッシュ化を待たず、次のスキャンの同時進行

- 前工程のスキャンがメッシュ(3D)化されている間に、次のアイテムのスキャンを開始できます。
- 次のアイテムをスキャンする前にメッシュが完了するのを待つ必要がないため、スキャン効率が格段に向上しました。

連続スキャン



* Locatorスキャン時は、一部連続スキャンができません。



How to video

[[Scanning and Import]]
#057_DTX Studio Lab_Scanning Trimming Tool

Scan algorithm improvements

画像トリミング / Hole filling :

- スキャン終了後、3D上で即座に不要な部分をトリミングすることができます。
- 綺麗なデータをデザイン画面に取り込むことが可能です。



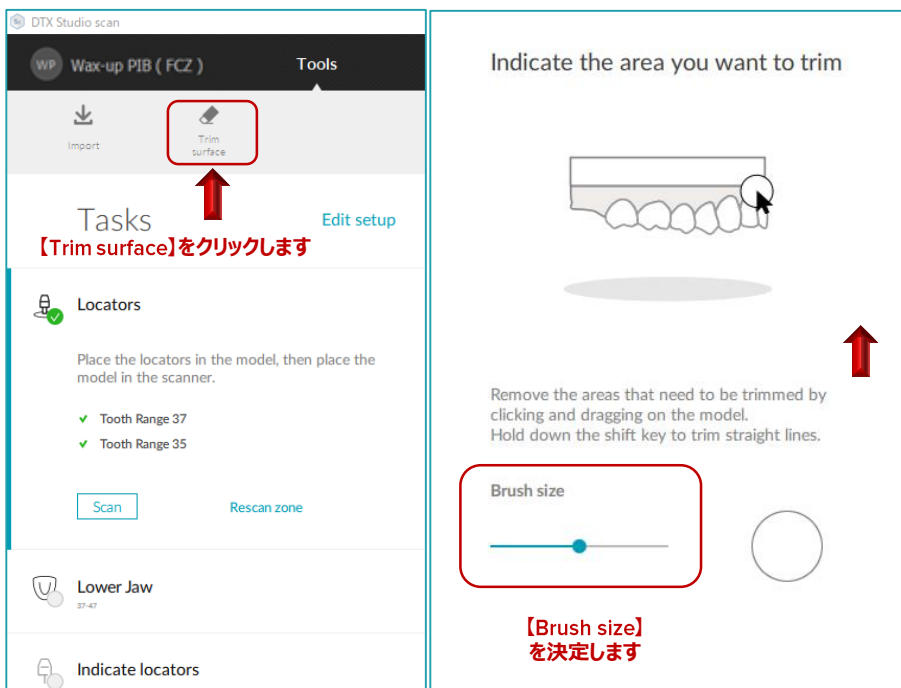
DTX Studio™ Lab 1.10.6.1 新機能ガイド



Trim surface KAVO LS3 Scanner

KAVO LS3 scannerのみの機能となります

スキャン中にトリミングが行えます。
Scan Menu上部の【Trim surface】をクリックします。
左ドラッグで不要なデータをトリミングすることができます。



DTX Studio scan

WP Wax-up PIB (FCZ) Tools

Import **Trim surface**

Tasks **【Trim surface】をクリックします** Edit setup

Locators

Place the locators in the model, then place the model in the scanner.

- ✓ Tooth Range 37
- ✓ Tooth Range 35

Scan Rescan zone

Lower Jaw 37-47

Indicate locators

Indicate the area you want to trim

Remove the areas that need to be trimmed by clicking and dragging on the model. Hold down the shift key to trim straight lines.

Brush size

【Brush size】を決定します

【Trim surface】- データ・トリミング機能



DTX Studio scan

Trim scans

Indicate the area you want to trim

Remove the areas that need to be trimmed by clicking and dragging on the model. Hold down the shift key to trim straight lines.

Brush size

ドラッグして不要なデータをトリミングします

Finish >

設定が完了したら【Finish】をクリックします。

Finish >



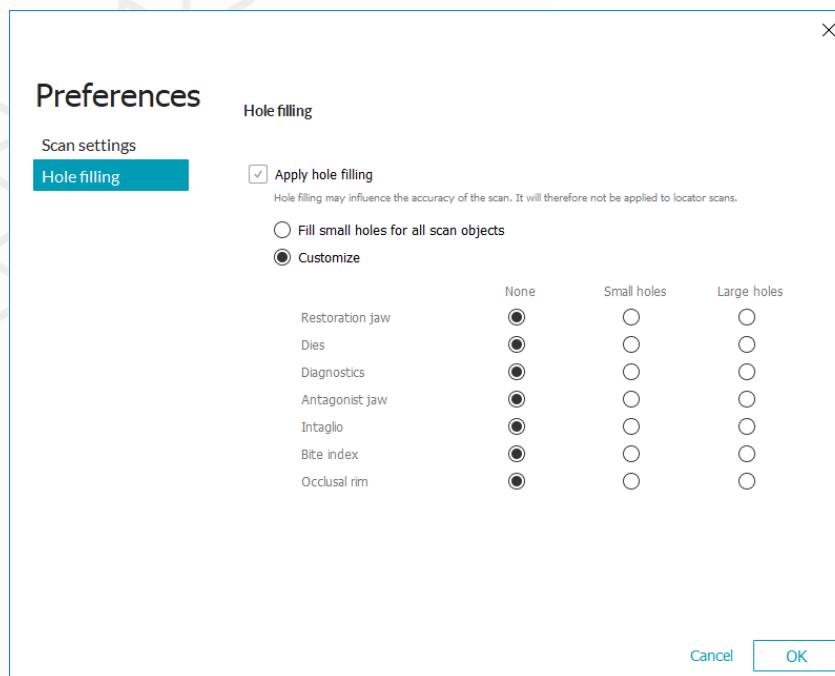
How to video

[[Scanning and Import]]
#056_Edit Scan Preferences

Scan algorithm improvements

穴埋め / Hole filling :

- スキャンモジュールの穴埋めの設定をスキャンオブジェクト毎に選択できます。
- 変更後は、デフォルト設定として保存されます。





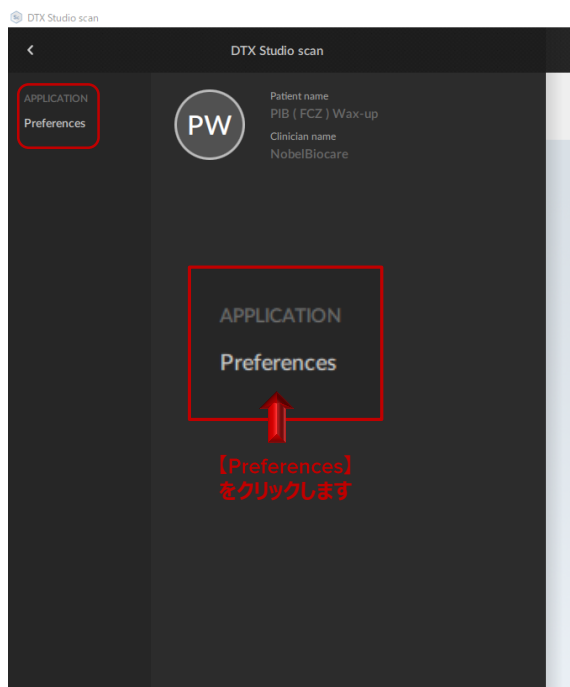
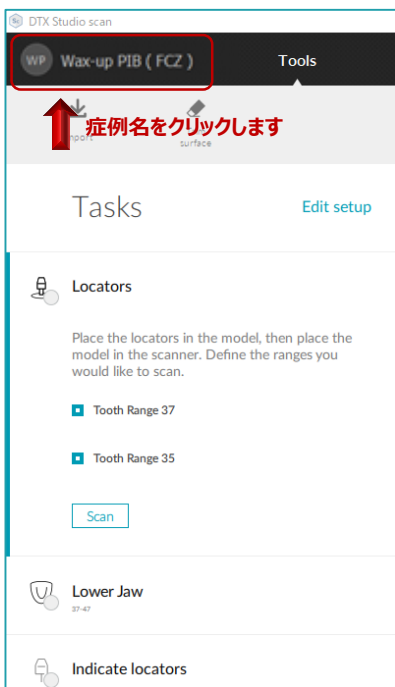
Hole filling

KAVO LS3 Scanner

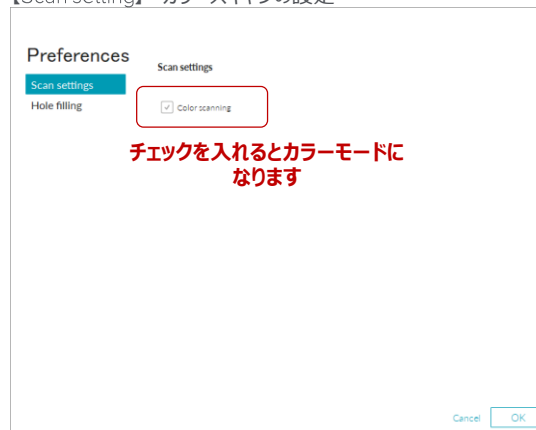
KAVO LS3 scannerのみの機能となります

【スキャンの設定を行います】

Scan Menu上部の症例名をクリックします。
ソフトウェアMenuから【Preferences】をクリックします。



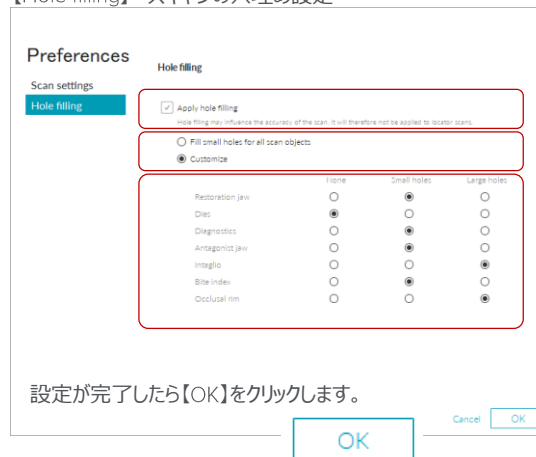
【Scan setting】 - カラースキャンの設定



【Scan setting】から、カラースキャンの設定が行えます。
【Color scanning】のチェックを入れると、カラースキャンモードになります。

* スキャン対象物ごとに、ON/OFFが切り替えられます

【Hole filling】 - スキャンの穴埋め設定



【Hole filling】から、スキャン対象物の甘梅設定が行えます。

【Apply hole filling】
穴埋め機能の ON/OFF設定
(チェックを入れるとONとなります)

【Fill small holes for all scan objects】
全てのスキャンデータに出来た、小さい範囲の穴を自動で埋めます。

【Customize】
それぞれの対象物ごとに、穴埋め設定を行なう事ができます。
None：穴埋めなし
Small holes：小さい穴埋め
Large holes：大きい穴埋め

Scan algorithm improvements

Occlusal Rim scanning :

咬合床を使用した無歯顎スキャン :

改良されたスキャンングアルゴリズムにより、咬合床を使用して無歯顎をスキャンすることができます。

これにより、様々な基準線や咬合平面を3Dデータで得ることができます。



How to video

[[Scanning and Import]]
#060_DTX Studio Lab_Scanning Occlusal Rim1



Scan + Import

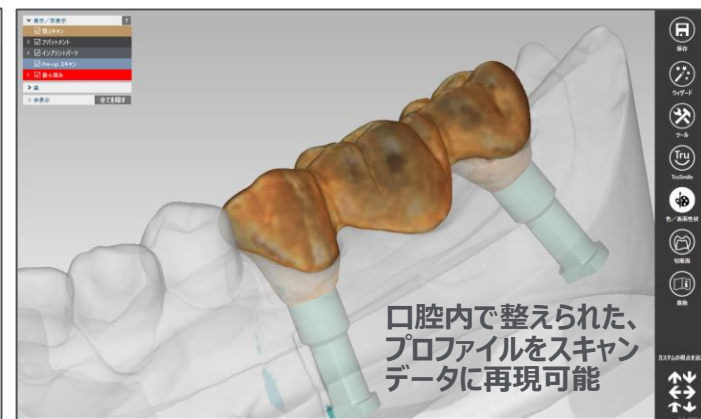
スキャンのインポート：

- 「スキャンアライメント」機能が導入され、スキャンとインポートのフローを組み合わせることができます



How to video

【Scanning and Import】
#063_Manual Alignment of Imported Scan Data
#064_Auto Alignment of Imported Scan Data



Scan中に、別のstlファイルをインポートし置き換えることができます。
暫間補綴装置のサブ・ジンジバルカントウアをスキャンに取り込みたい場合などに有効な機能です。



Scan + Import KAVO LS3 Scanner

KAVO LS3 scannerのみの機能となります

Scanに必要なデータ :

例 : PIB症例
テンポラリークラウンのサブ・ジンジバルカントゥアを
スキャンデータに取り込む方法

- ① ロケータースキャン
- ② 顎スキャン(どちらか一方のデータ)
 1. テンポラリー付き
 2. テンポラリーなし
- ③ 診断スキャン
- ④ テンポラリースキャンデータ

顎スキャンの際にテンポラリー(Diagnostics)の情報がない場合は、後にインポートするスキャンデータとのマッチングポイントが失われる場合があります。

インポートするテンポラリーのスキャンデータ

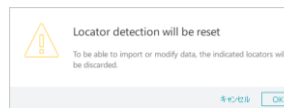


Scan Import :



通報に従い、模型スキャン(模型もしくは、IOSデータのインポート)を実行します。

【アライメントの確認】の項目まで進み、画面左上の【インポート】を選択します。



Locatorのアライメントをリセットする警告が出ますので、【OK】をクリックします。



インポート画面



Scan + Import

KAVO LS3 Scanner

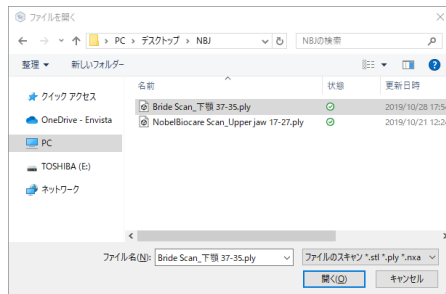
KAVO LS3 scannerのみの機能となります

Scan Import :

画面左下の、【インポート】をクリックし、インポートするファイルを選択します。

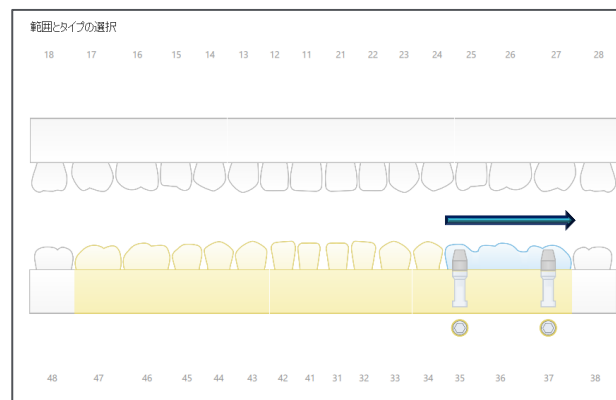


【インポート】をクリック



ファイルが追加されたら、追加ファイルをクリックし、画面に表示されたデータに間違いがないかを確認します。

Scan Import :



対象の歯列を選択します。
(ブリッジの場合は、左ドラッグ)



スキャンアイテムの項目から、【診断】を選択します。
【診断】の項目から、スキャンに使用した機器を選択し、【終了】をクリックします。



対象のデータにチェックが入ったら、画面下の【次へ】をクリックします。

もともとスキャンしたデータと入れ替わります。





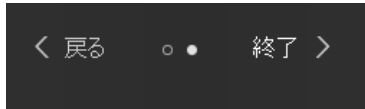
Scan + Import KAVO LS3 Scanner

KAVO LS3 scannerのみの機能となります

Scan Import :



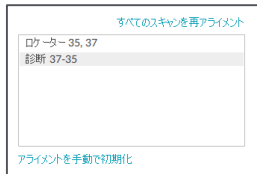
スキャンデータの方向を調整し、画面下の【終了】をクリックします。



Scan Import :



【アライメントの確認】から、【開始】をクリックします。



アライメントの項目から、【診断】を選択します。

【アライメントを手動で初期化】をクリックします。



顎スキャンの際に、テンポラリーのスキャンデータがない場合は、手動でアライメントを行います。

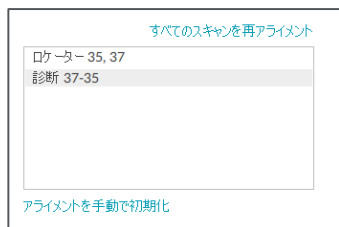


Scan + Import

KAVO LS3 Scanner

KAVO LS3 scannerのみの機能となります

Scan Import :



②-1 顎スキャン (テンポラリー付き)



すべてのスキャンを再アライメント：((自動))
顎スキャン実行時に補綴データを読み込んでいる場合は、歯冠部にマッチングポイントがあるため、オートマッチングが可能となります。

②-2 顎スキャン (テンポラリーなし)



アライメントを手動で初期化：((手動))
顎スキャン実行時に補綴データを読み込んでいない場合は、診断スキャンがインポートしたデータに置き換えられてしまうため、歯冠部のマッチングポイントは顎データとなります。

アライメント：
顎スキャンの状況により、右図の通り、アライメント方法を選択します。

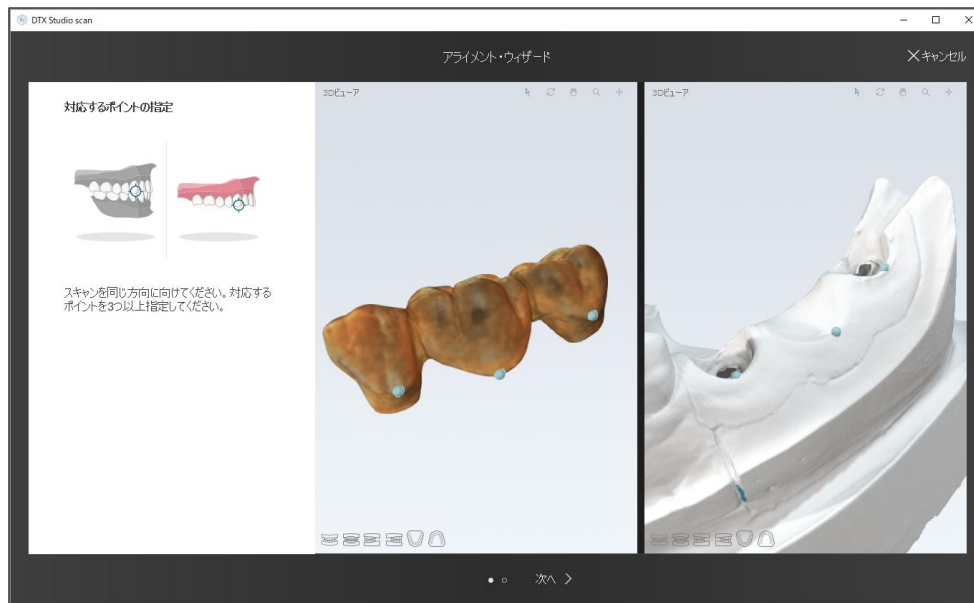
本項では、【手動マッチング】を行います。



Scan Import :



操作ボタンを使用し、左右の3Dビューアーの向きを揃えます。



インポートしたデータと、顎データの同等の位置に、3点のポイントを付与します。

画面下の【次へ】をクリックします。



Scan + Import KAVO LS3 Scanner

KAVO LS3 scannerのみの機能となります

Scan Import :

アライメント調整の完了。
【終了】をクリックします。
再度ロケータのアライメント確認後、スキャン工程を終了させます。



Scan Import :

【自動アライメントの場合 (推奨)】



インポートしたデータが、顎データの補綴装置歯冠部にマッチングします。

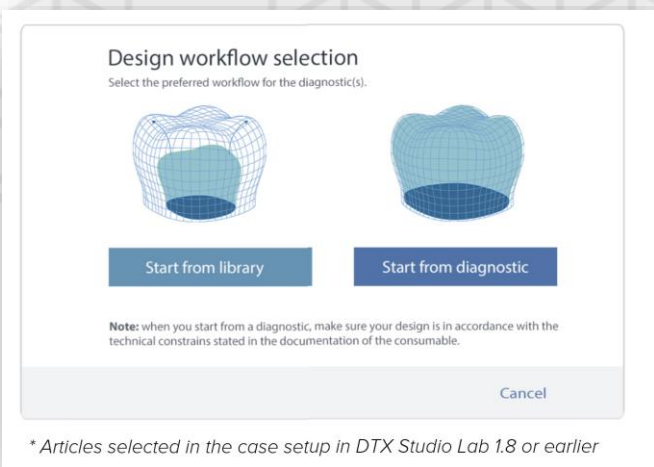
アライメントの確認後、画面下の【終了】をクリックします。再度ロケータのアライメント確認後、スキャン工程を終了させます。

Continued ease of use improvements

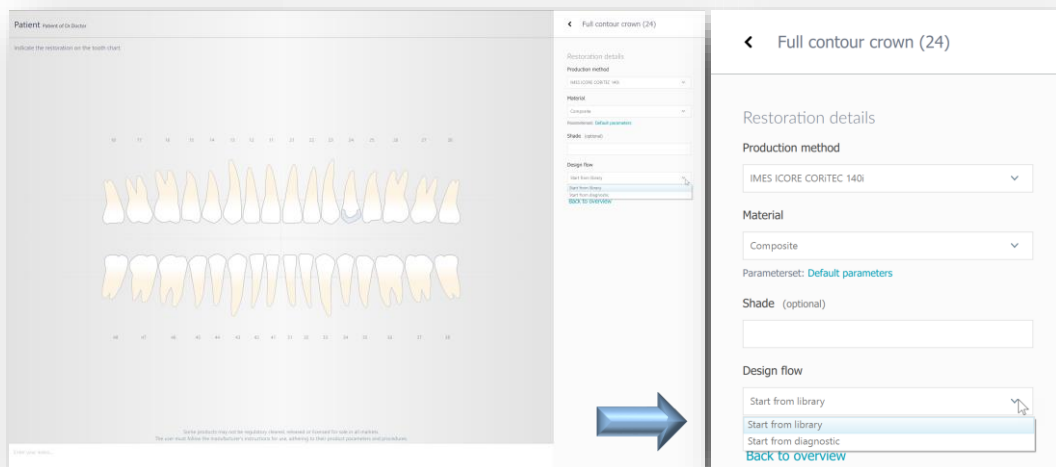
スキヤンのインポート :

- 設計ケース「ライブラリの歯から開始」または「診断から開始」の選択がケース設定に移動しました。

Before:



New:



選択した復元タイプに関係なく同じワークフローで行えます。



User manual

【 DTX Studio™ Lab User Manual 】
NobelProcera_PIB
CAD・PIB _ FCZ
CAD・PIB _ Ti_Zr
Wax-up・PIB _ FCZ
Wax-up・PIB _ Ti_Zr



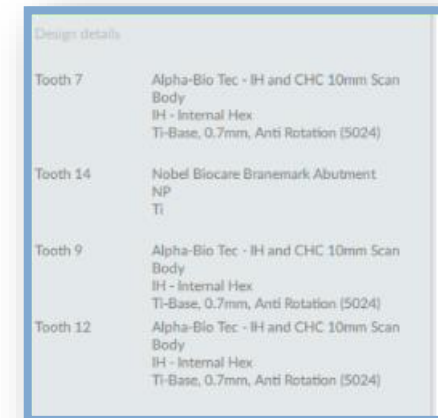
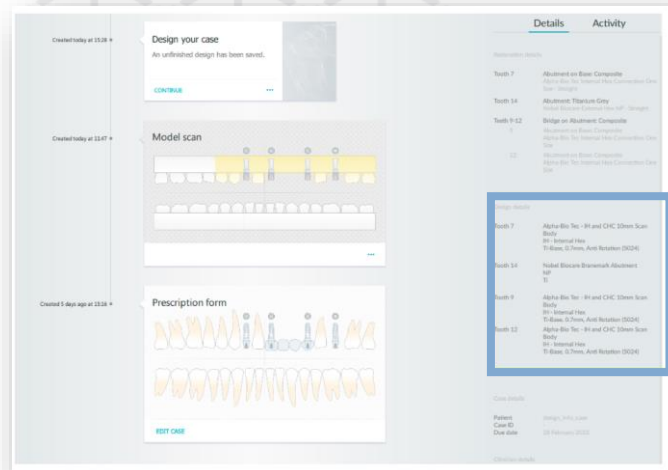
No Image

Continued ease of use improvements

スキャン設定の効率化：

- Ti / ZrベースのIn-Lab Production
- DTX Studio Labホームページの[詳細]タブで、設計段階で選択されたベースの概要を確認できるようになりました。

選択した復元タイプに関係なく同じワークフローで行えます。



Update DTX Studio™ Lab software

Information



Template Request

Surgical Template's file Export

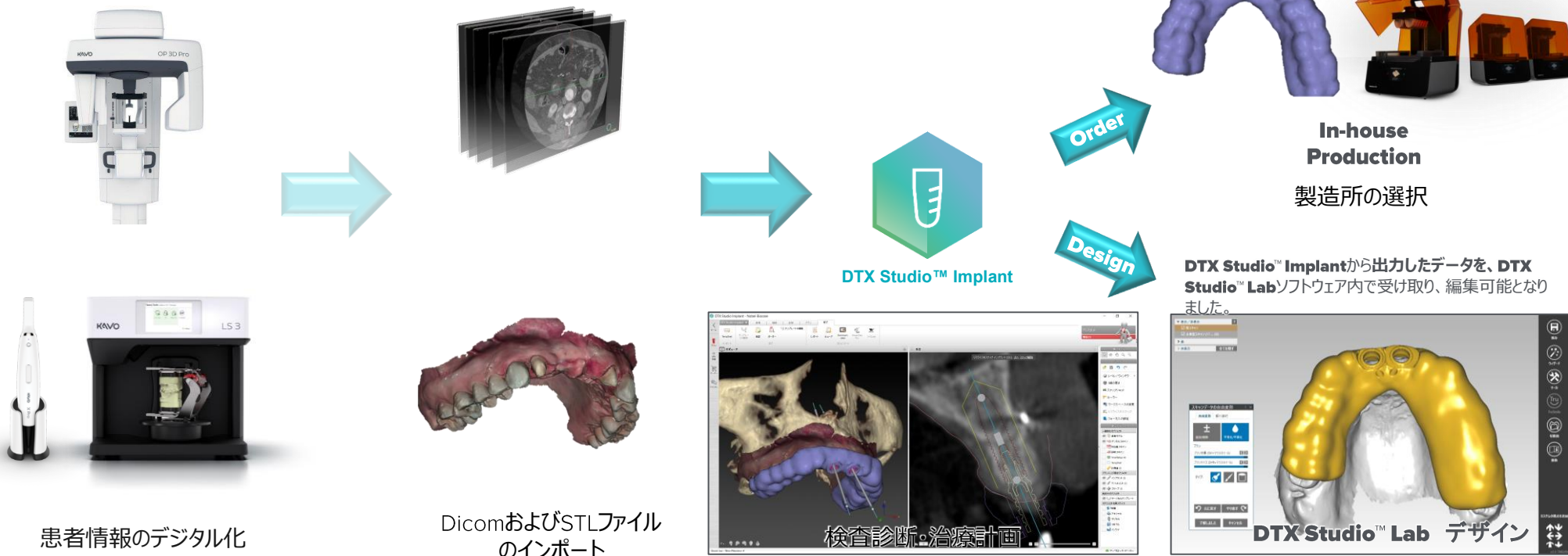
DTX Studio™ ImplantからサージカルテンプレートのSTLファイルを出し、DTX Studio™ Labソフトウェアで編集可能となりました。

- * In-Lab Productionのみ
- * コネクトが必要です



How to video

【Template Request】
#001_Accept Template Request and Edit



NobelProcera & In-lab – Expanded Tooth library

歯牙ライブラリーの拡張：

追加料金の必要はなく、歯牙ライブラリーが拡張しました。

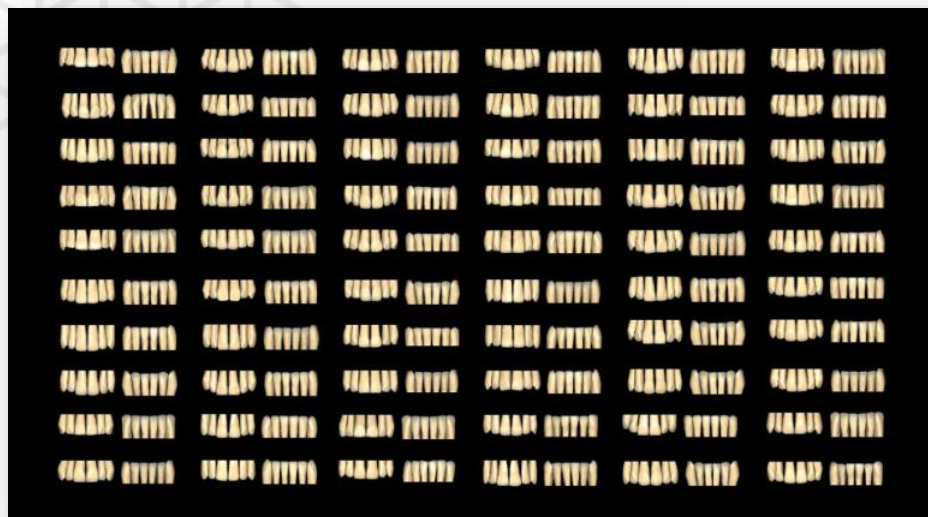
機能性や審美性の幅広い選択肢

- 上顎前歯：61セット
- 下顎前歯：19セット
- 上顎臼歯：19セット
- 下顎臼歯：19セット Total：118セット



How to video

【Design】
#037_Model Tooth



In-lab Milling – authentic VITA parameters

パラメータファイルの追加：

- ラボで修復物設計を行う際に、既存のVITAブロックのパラメータファイルを使用することが可能です。
- * パラメータファイルには最小厚みの情報が含まれます。
- * パラメータファイルは、**DTX Studio™ Go**から取得できます。
- * **Open** および **Pro** ライセンスのみの機能となります。



User manual

【 DTX Studio™ Go User manual 】
P,059_In-lab Milling – authentic VITA parameters

VITA



NobelProcera ASC Visualization



No Image

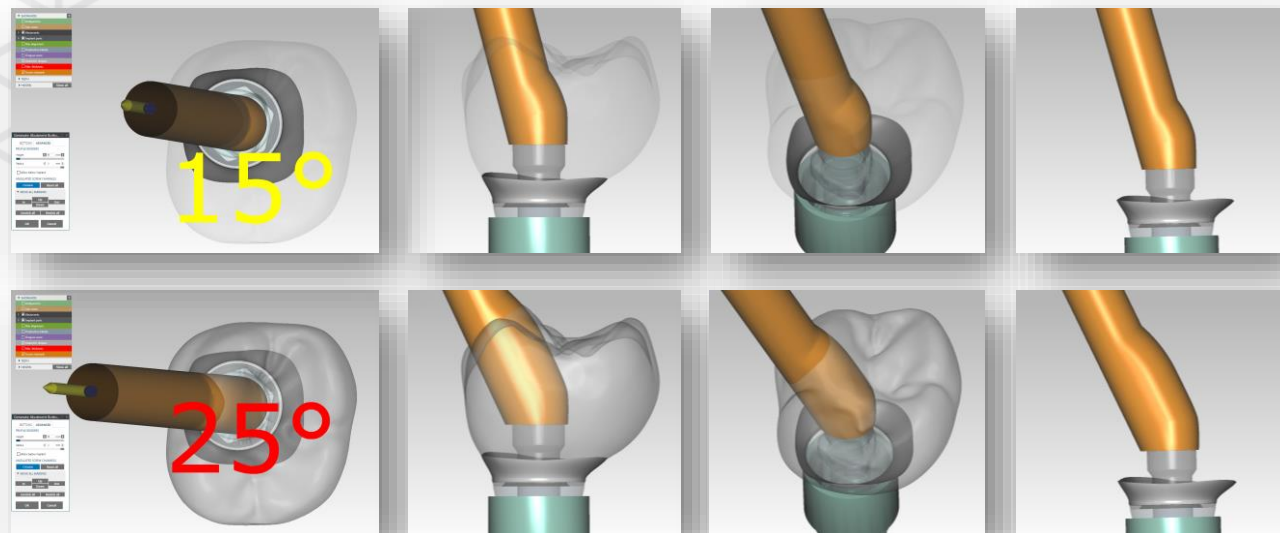
NobelProcera ASCのビジュアライゼーションが現実化：

角度付きスクルーチャンネルの設計時に、実際のスクルーアクセスホール形状を確認できます。

補綴装置に対するアクセスホール径を視覚的に見ることが可能になりました。

製品：
ノーベルプロセラASCアバットメント
ノーベルプロセラインプラントブリッジ

製造：ノーベルプロセラ・センター

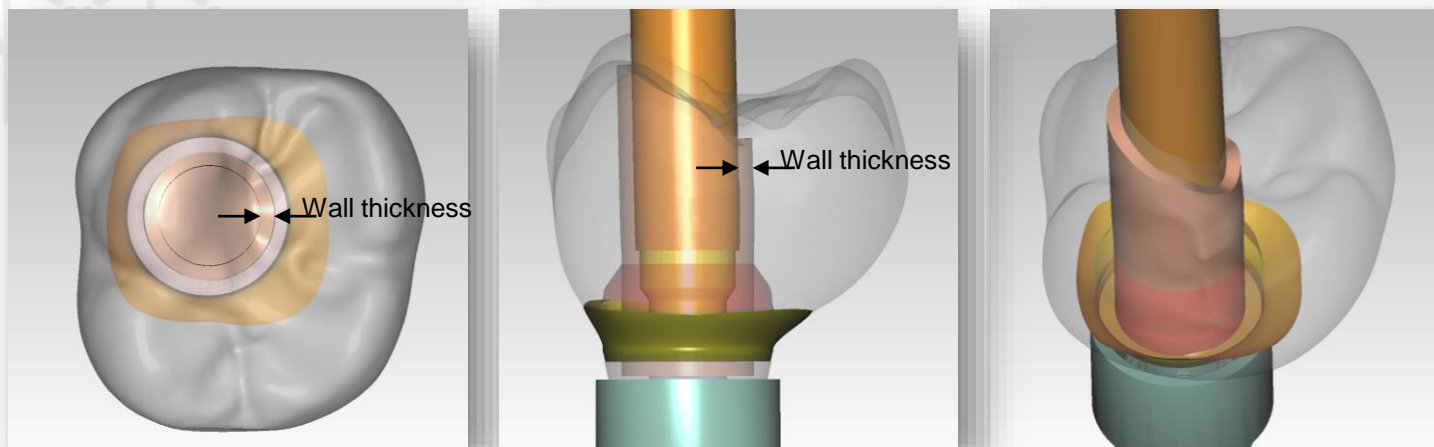


NobelProcera ASC Visualization

NobelProcera スクリューアクセスホール強化:

NobelProceraインプラント修復に必要な最小厚みが、アクセスホール周囲のフレームにも適応になりました。

これにより、より強固な補綴装置のデザインが行えます。



NobelProcera – Virtual gingiva

NobelProcera – 歯肉デザイン機能：

CADによるフルデザイン。

- 様々なカットバック・デザイン (フル、パーシャル、セパレート)
- ワックスアップ・スキャンにも対応

Virtual gingiva

Products:
 NobelProcera Implant Bridge Ti
 NobelProcera Implant Bridge Zr
 NobelProcera FCZ Implant Bridge
 & framework in HTML

Virtual gingiva + thimbles

Products:
 NobelProcera Implant Bridge Ti
 NobelProcera Implant Bridge Zr
 NobelProcera framework in HTML



FOR - Foundation for Oral Rehabilitation
 fixed-implant-prostheses-introduction
<https://www.for.org/en>
 より転載



User manual

【 DTX Studio™ Lab User Manual 】
 NobelProcera_PIB
 CAD・PIB _ FCZ
 CAD・PIB _ Ti_Zr
 Wax-up・PIB _ FCZ
 Wax-up・PIB _ Ti_Zr



How to video

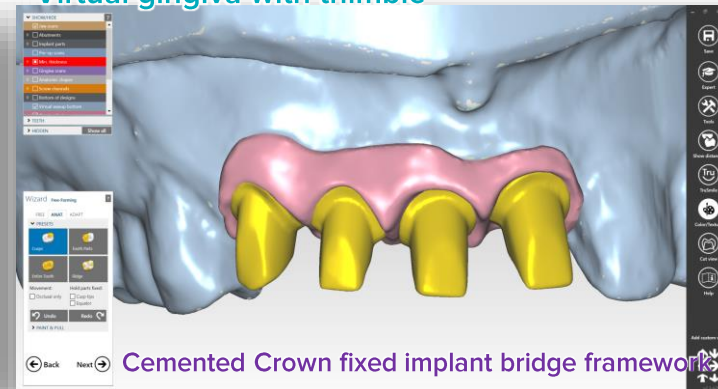
【Design】
 #015_DTX Studio Lab_Design_Soft tissue with Thimble WF
 #016_DTX Studio Lab_Design_Soft tissue with Veneering WF
 #031_Implant Bridge_Soft Tissue with Thimble Design
 #032_Implant Bridge_Soft Tissue with Veneering Design

Virtual gingiva with veneering



Screw-retained implant bridge frameworks

Virtual gingiva with thimble



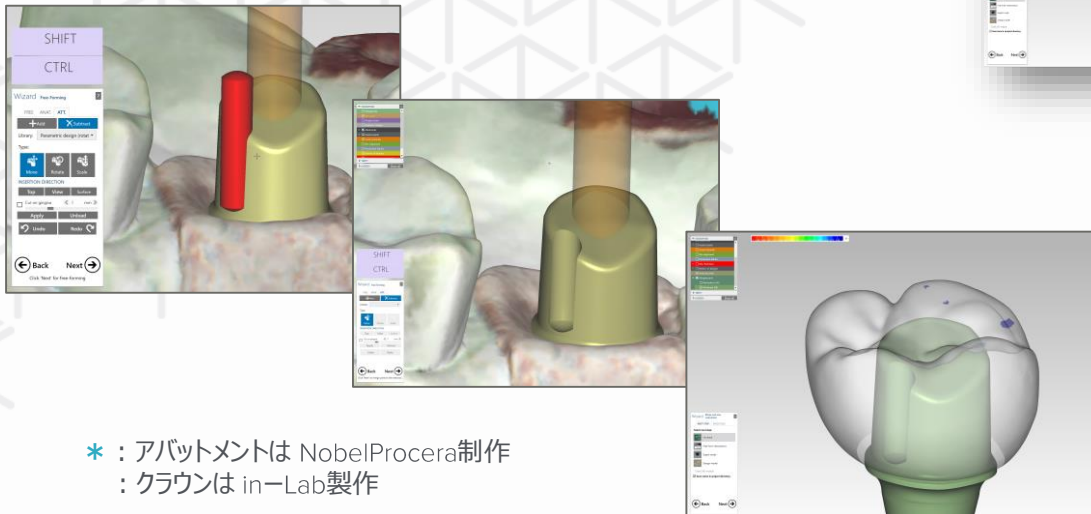
Cemented Crown fixed implant bridge frameworks

NobelProcera & In-lab – Spit File

“ Split file ” :

同じデザインセッションで
アバットメント+クラウン / アバットメント+ブリッジ
のデザインが可能となりました。

* : レンタルオープンライセンス以上が必要です。



How to video

【Case Set-up】

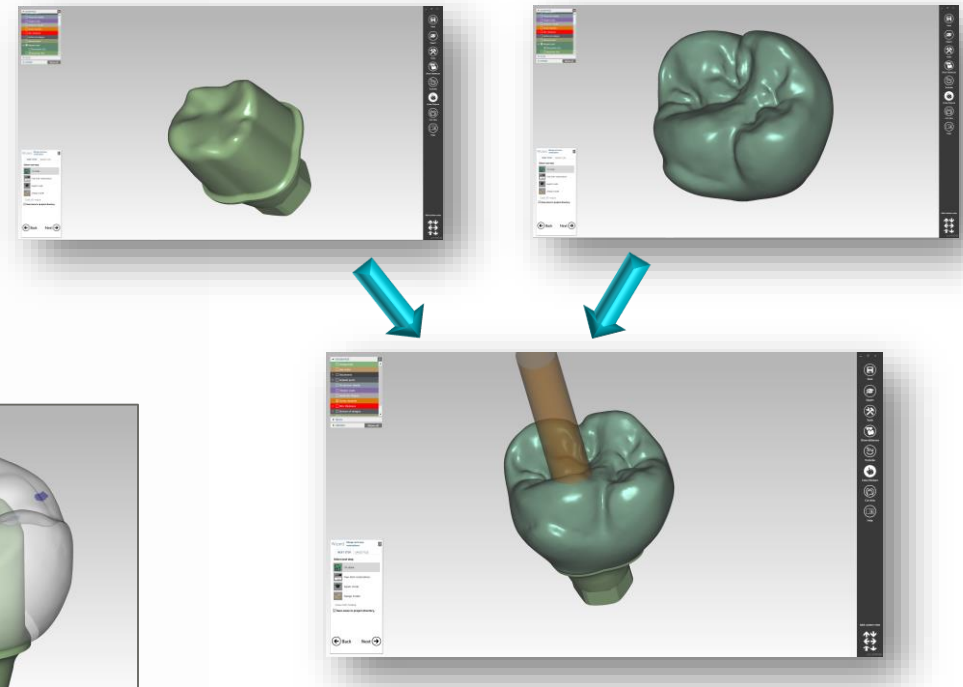
#005_DTX Studio Lab_Case Set-up_Spit File

#011_Case set-up_Spit File

【Design】

#017_DTX Studio Lab_Design_Abutment and Crown WF

#026_Spit File_Abutment and Restoration



NobelProcera & In-lab – Spit File

“ Split file ” :

同じデザインセッションで
アバットメント+クラウン / アバットメント+ブリッジ
のデザインが可能となりました。

* : レンタルオープンライセンス以上が必要です。

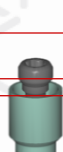
製品 :

- NobelProceraアバットメントTi / Zr
- アバットメントベース
- クラウンまたはブリッジ

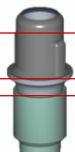
製造 :

- アバットメント -> NobelProcera
- クラウン/ブリッジ -> in-lab
- クラウンのアバットメント・フレーム -> in-lab

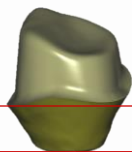
Abutment on Base + Restoration



インプラント選択



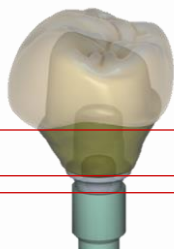
Universal Base
Universal cylinder



Abutment frame
デザイン

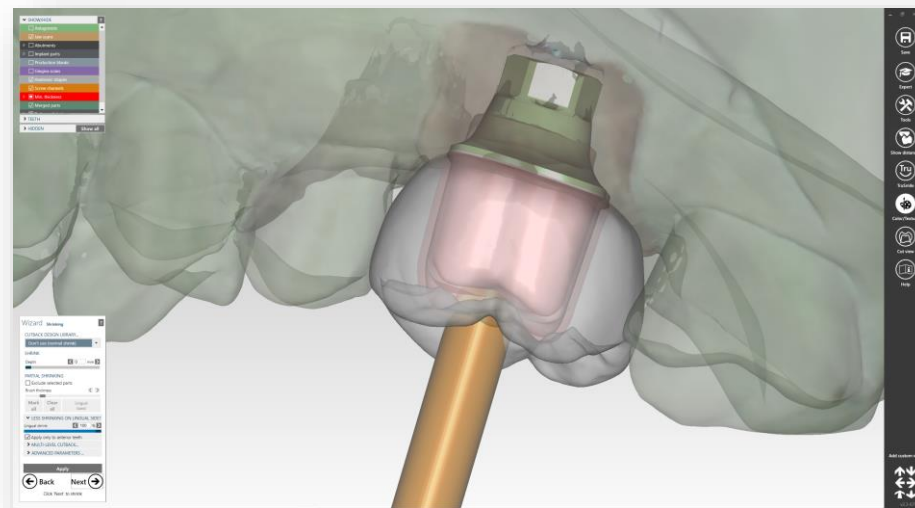


Crown
デザイン



Spit file

* : アバットメントは NobelProcera制作
: クラウンは in-Lab製作



Anti-rotational grooves

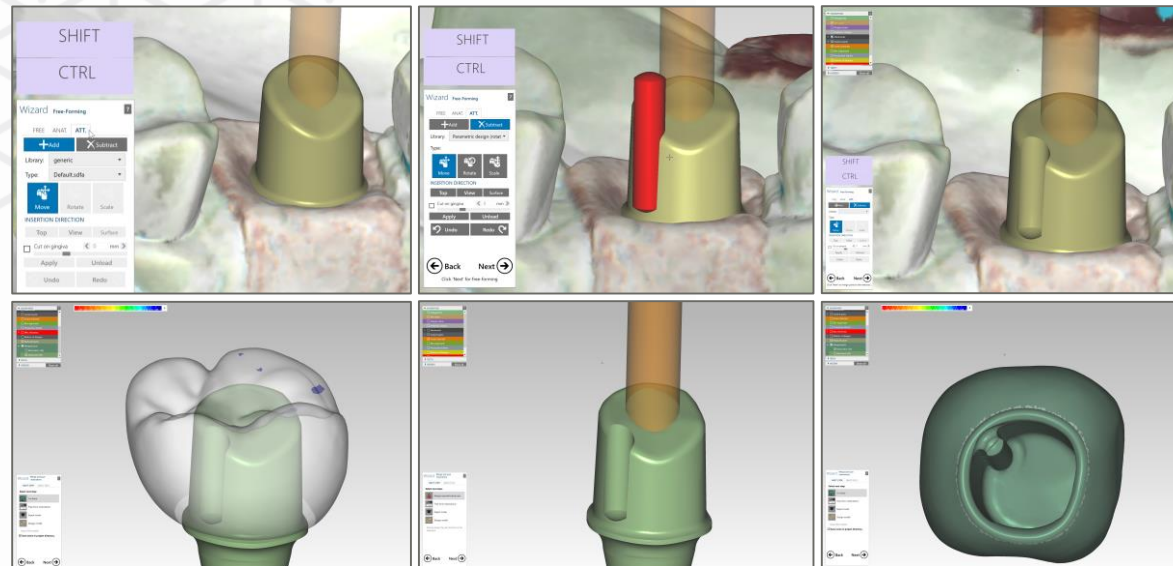
回転防止溝：

アバットメントに回転防止溝を作成できます。
Spit file機能を併用すると、クラウン内部に回転防止溝が形成されます。



How to video

【Design】
#038_Attachment Workflow to Create a Retention Groove on an Abutment



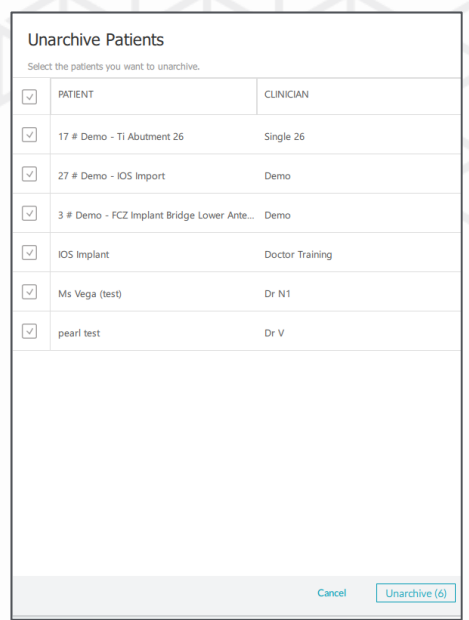
Search capabilities now possible for archived cases



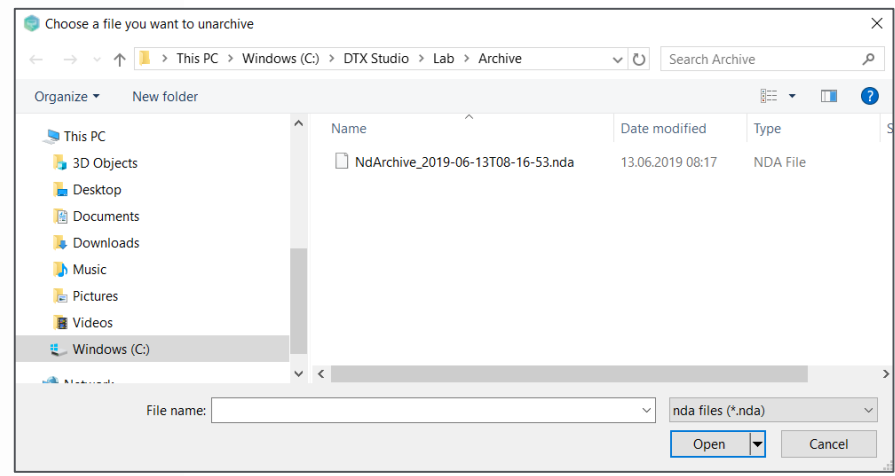
No Image

アーカイブ :

患者データのアーカイブ機能が追加されました。
アーカイブされたフォルダをより簡単に検索できるようになりました。



[アーカイブ解除]を選択し、患者データを戻す事も可能。





User manual

【 DTX Studio™ Go User manual 】
P,028 - P,039
Restoration Request



Restoration Request on DTX Studio™ Go



How to video

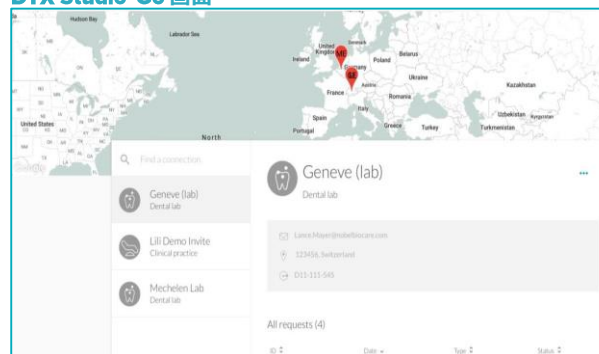
【Case Set-up】
#008_DTX Studio Lab_Case Set-up_IOS Case Request

DTX コミュニケーション :

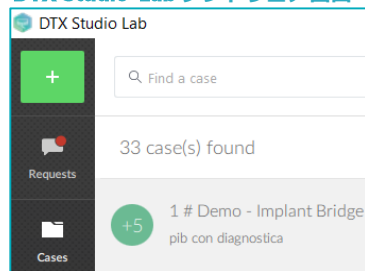
DTX ID を所有しているユーザーは、DTX Studio™ Goの「Restoration Request」から修復を注文。
(IOSファイルと写真も送信可)

DTX Studio LabのユーザーがSWで直接リクエストの受け取りが可能となりました。

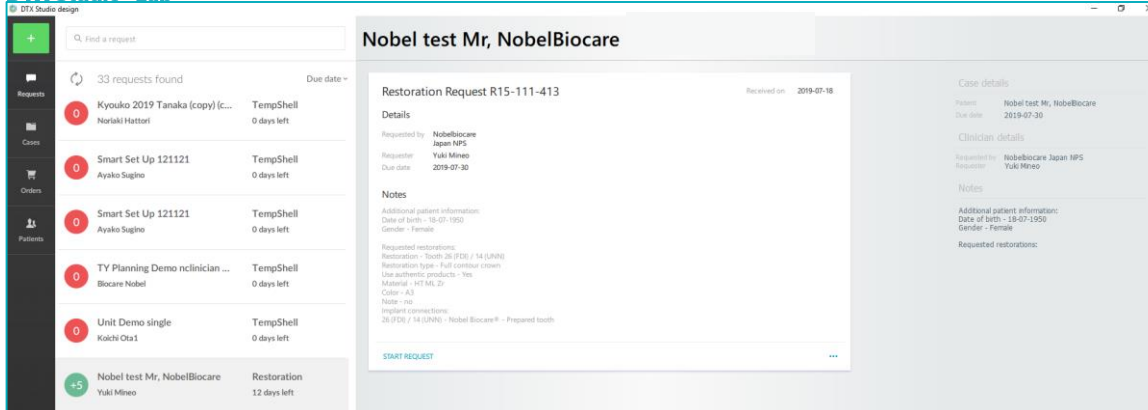
DTX Studio™ Go 画面



DTX Studio™ Lab ソフトウェア画面



DTX Studio™ Lab



Restoration Request on DTX Studio™ Go

修復物オーダーリクエスト 《受信側》

- オーダーリクエストが行われると、コネク先へ電子メールで通知が送信されます。
- DTX Studio™ Go【受信リクエスト】からオーダーの確認が取れます。
- 【DTX Studio™ design (DTX Studio™ Lab)】ソフトウェアを起動し、【Request】から受信したデータを確認します。

電子メール受信画面

差出人: no-reply@dtxstudio.com

件名: Nobel Biocare Japan has sent a new service request

New service request available

A new service request was sent out for you to be processed. Open your DTX Studio Lab to fulfill this request.

Note: the data will stay available on our servers for the upcoming **90 days**. More information about the service request can be found [here](#).

Requested by: **Nobel Biocare Japan**
Request ID: **R15-111-474**
Patient name: **Biocare Nobel**
Requested service: **Produce a restoration**

Best regards,
DTX Studio team

Please be advised that this email may contain confidential information. If you are not the intended recipient, please notify us by email by replying to privacy@dtxstudio.com and delete this message. The sender disclaims that the content of this email constitutes an offer to enter into, or the acceptance of, any agreement, provided that the foregoing does not invalidate the binding effect of any digital or other electronic reproduction of a manual signature that is included in any attachment.

Restoration Request on DTX Studio™ Go

修復物オーダーリクエスト 《受信側》

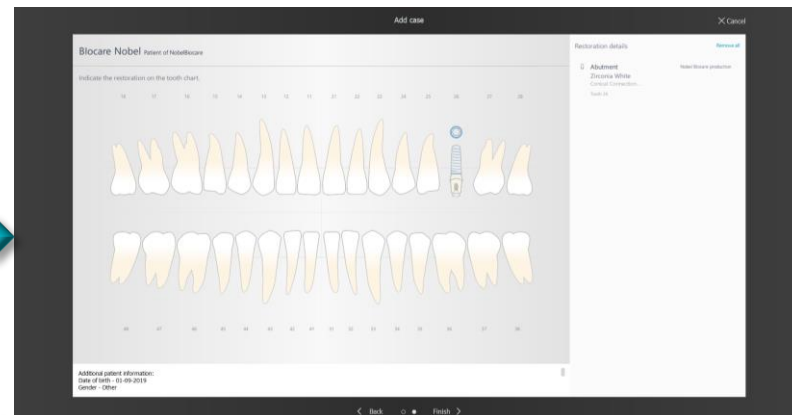
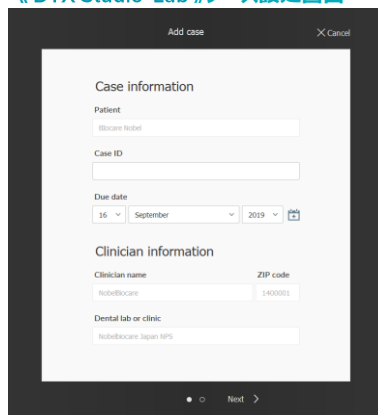
《 DTX Studio™ design(DTX Studio™ Lab) 》

- ダウンロード後、設定画面に移行します。
- DTX Studio™ Labソフトウェアで通法に従い設定を行います。
- トップ画面に【Scan or import model】が表示されたら、【DEFINE SCANS】を選択します。
- IOSデータの設定画面から、通法に従いScan設定を行います。
- 添付したデータが選択されています。

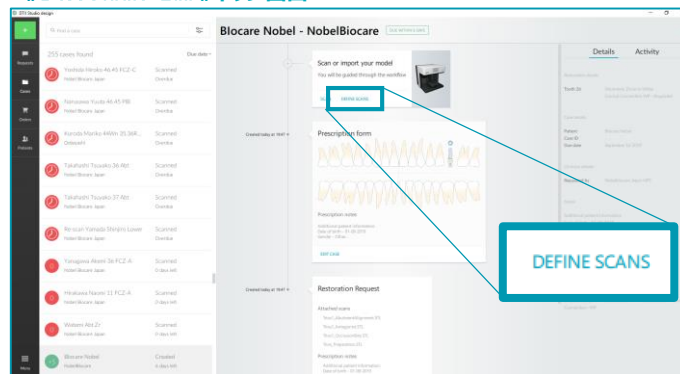


DTX Studio™ Lab

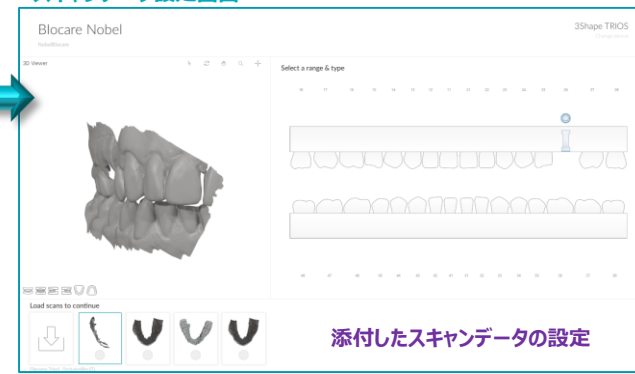
《 DTX Studio™ Lab 》ケース設定画面



《 DTX Studio™ Lab 》トップ画面



スキャンデータ設定画面



Contact Support

ソフトウェア操作方法など
ご不明点などございましたら、ノーベル・バイオケア・ジャパン株式会社
プロセラ・テクニカルサポートまでご連絡ください。

プロセラ・テクニカルサポート

TEL : 0120-432-118

営業時間 : 月～金 9時～20時 (土・日・祝日は除く)



Nobel Biocare DTX Studio™ Implant 3.4 new function guide

©Nobel Biocare Japan K.K. All rights reserved.

